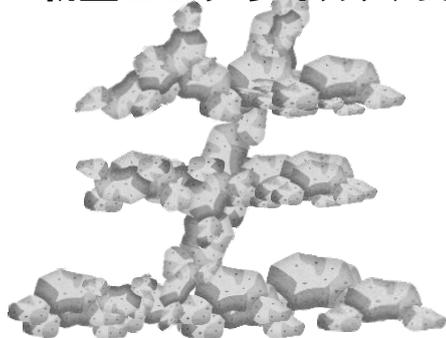




・・・『生きる』を考える・・・

～コロナ時代を明るく生きるヒントを見つけよう～

新型コロナウイルスの感染拡大による閉塞感漂う生きづらい日常のなか、



小説「阪急電車」(有川浩著書)に登場する

「生」モニュメントを制作されました

現代美術家・大野良平さんをお迎えして

表現者として「生きる」ことの意味について

お話を伺いながら「生きる」を一緒に考えてみませんか？

開催日：2021年2月13日(土)

時間：14:00～16:00

場所：宝塚市立男女共同参画センター
学習室1A・B

講師：現代美術家 大野良平さん

定員：30名(要予約・先着順)

入場：無料

保育：定員10名(1歳から就学前まで)
(要予約・先着順)



<プロフィール>

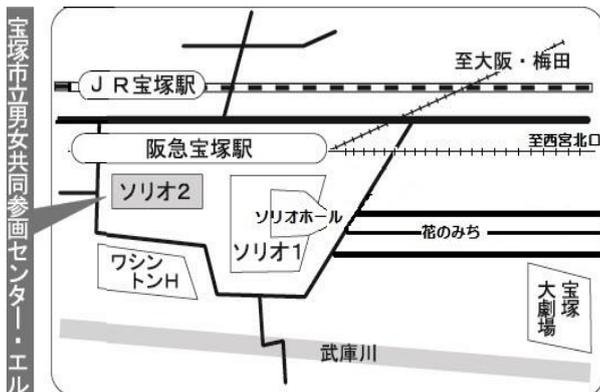
宝塚市に生まれる。1995年、阪神・淡路大震災後、自宅を解体した廃材を素材に「記憶の中の廃材シリーズ」発表。2005年、武庫川中州に、街と人の心の再生を願い「生」の石積みを制作。2010年、記憶の中の「生」再現プロジェクトを立ち上げ、今日まで市民とともに「生」の石積み制作を続けている。

*一時保育の申込は宝塚市立男女共同参画センター
(0797-86-4006)まで

<主催> 宝塚男女共同参画センター連絡協議会

<申し込み・問い合わせ先> (高橋)
TEL/FAX: 0797-71-3744
MAIL: spoon-obasan@au.com

宝塚市立男女共同参画センター・エル



(駐車場はありませんので、公共交通機関でお越しください)